

祝 鹿児島和牛日本一



9月12日 南日本新聞一面に掲載。



森ファーム 森義之専務とななみ号

今回、優勝はできませんでしたが、4位入賞を果たすことができました。『ななみ号』の魅力は背中から腰にかけてまっすぐ伸びた体上線の美しさ。そのラインに磨きをかけるため、美しい姿勢をキープする練習を繰り返しました。毛並みの艶を良くするために使つたのは、1本千円する馬油シャンプー。一日3回、愛情を込めてシャンプーしました。農家さんからの差し入れで大好物のカボチャをたっぷり食べたななみ号。おかげで、私も1週間、カボチャの煮付けをいただきました。今回、鹿児島県の日本一に貢献できたことをうれしく思います。次回は地元開催なので、ぜひ種牛の部での1位を目指します。

森ファーム組合 ななみ号 4位入賞

全国の和牛が改良の成果を競う「第11回全国和牛能力共進会(全共)」が9月7日から11日まで、宮城県仙台市で開催されました。5年に一度開かれる「全共」は、和牛のオリンピック」と呼ばれ、各都道府県が「日本一」を目指してしのぎを削ります。大会は和牛の体型を競う「種牛」、肉質を競う「肉牛」の部があり、年齢や性別による10の区分に、今大会は39都道府県の約500頭が出品しました。

我が森ファームの『ななみ号』も「種牛の部」の1に出場。晴れの全国大会で美しい立ち姿を披露し、見事4位入賞を果たしました。なお、特別区を除く9区の上位6位までの合計点で争われた「団体賞」では、鹿児島県が1位となり「和牛日本一」の称号を獲得。次回は2022年に霧島市で開催されます。



私もグループ各社の代表と共に、会場である『夢メッセみやぎ』へ応援に行ってまいりました。

『牛のオリンピック』とも呼ばれている大会ですが、その呼び名の通り、超満員の会場はものすごい熱気に包まれており、まさしくオリンピック!私どもグループ応援団も最初から最後まで緊張の連続でした。結果は1席とはいきませんでしたが、最難関と言われる鹿児島予選を見事勝ち抜き、本大会にて優勝候補であった宮崎2頭を押さえての入賞は見事だったと思いますし、鹿児島県の総合優勝へも繋がった入賞だったと思います。今回は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。森ファームのみなさん、『ななみ号』、本当にお疲れ様でした。

(編集長 前田)